

## 第31回(8/24)、第32回(9/26) 国際連携WGでの議論要旨

|          |  |
|----------|--|
| 説明概要     | <p><u>国際会議の開催 - 3rd SIP-adus Workshop(11/15-11/17)の準備状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SIP-adus Workshop のセッション構成【資料25-2-3-1-1】を決定。</li> <li>・ 欧州各国で活発化している公道実験に関する登壇希望が多いため Openingを拡張して各国での事例を共有するセッションを設ける。</li> <li>・ 国際連携テーマ別のセッションおよび分科会は、テーマ別窓口のリーダーシップにより登壇者選定が進展し、今後論点整理を進める。</li> <li>・ 施策成果は、国際連携テーマおよび大規模実証実験に沿って展示。</li> </ul> <p><u>社会受容性の醸成 – 市民意見交換会開催計画</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般市民向けに自動走行システムの情報を発信する活動は、自動走行により実現する将来の社会を市民と共に議論する場として年度内に全3回の開催を計画する。【資料25-2-3-2】。</li> <li>・ 企画および当日の進行は、清水和夫構成員および岩貞るみこ構成員に全面協力いただき、議論の内容はインターネットを通じて広く発信。</li> <li>・ 第1回は11月1日(火)に開催予定。</li> </ul> <p><u>情報発信の強化 – SIP-adus HP リニューアル</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単年度契約のため中断していたSIP-adusホームページの更新を8/22に実施。前年度のSIP施策成果を公開。社会受容性醸成のための情報発信の基盤として活用。</li> <li>・ 英語ページも更新し、SIP-adus Workshopの開催概要を順次発信。</li> </ul> |
| WGでの主な議論 | <p><u>社会受容性の醸成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SIP-adusで検討している自動運転技術について一般市民の理解を促すことを主眼としていたが、高齢化社会への対応など自動走行に対する一般市民の高い期待を受け止めて研究開発に反映することも重要。双方向の議論の場となるようにすべきである。</li> <li>・ 来年度の大規模実証実験や東京モーターショーなどの機会を活用できるよう、複数年度で継続的に推進できるようにすることが必要。</li> </ul> <p><u>国際的に開かれた研究開発の整備について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模実証実験に海外からの参加を受け入れることを受けて、国際連携WGは海外からの参加促進に注力。まず、日本自動車輸入組合を通じて、欧州自動車工業会(ACEA)との交流(10月26日)を計画。</li> <li>・ 海外からの参加についても、実験に使用する車両や機器の技術要件や成果の共有など条件の具体化が必要。</li> </ul>   |